

一 般 質 問

令和4年3月8日に「第1回奥尻町議会定例会」が開会され、1名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

制野 征男議員



神威脇温泉保養所の入湯税廃止を

質 問

日帰り入湯税は町の税条例では一般公衆浴場は非課税としている。日帰り入湯税を課税できる施設は飲食と宿泊を伴う施設との専門家の指摘もあり、スーパー銭湯とか健康センターの類になる。
神威脇温泉保養所は課税を免除できる一般公衆浴場と言える施設であり、入湯税の課税は廃止すべきではないか。

入湯税廃止について検討したい

町長答弁

鉱泉を利用することから地方税法の目的税として神威脇温泉保養所は飲食・宿泊施設がなくとも入湯行為があるとして課税してきた。

料金設定について、北海道公衆浴場統制額料金から大人100円下まわっているが、小学生以上の小人料金は20円上回っている。今後、改正することにするが、入湯税廃止についても検討することにした。



八雲町におけるニジマス養殖について

質 問

1. 八雲町からの奥尻町への協力に対する具体的な内容について説明を求めます。

2. 八雲町におけるニジマス養殖への詳細な計画案について奥尻町に報告はされているのですか。

3. 計画案について説明、報告がなされているとするなら町において納得のいくものになっているのですか。

地元漁業者・議員など関係各位と協議したい

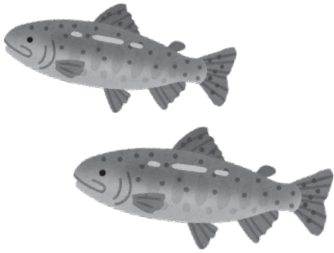
町長答弁

1. 八雲町におけるニジマス養殖について、八雲町からの奥尻町への協力に對

する具体的な内容についてですが、八雲町からの奥尻町への協力に対しては、現在のサーモン養殖を大規模に実施する場合、冬期間が荒天となる現海域では実施できないことから、冬期間も養殖が可能な奥尻島東海面の使用許可や自動給餌機の設置場所等についての協力を求められております。

2. 計画案の町への報告の件については、昨年12月7日に当町と漁業者の代表者数名に対し、八雲町から説明がありました。内容につきましては5カ年の構想が盛り込まれており、生産目標としては5年後には年3千トン、30億円を目指す計画となっており、奥尻島海域では2142トンで全体の7割の生産が計画されています。養殖の実施方法等については、今後関係者と協議していくことになると思います。

3. 町としては、この計画が水産振興の大きな前進となるものと捉えております。しかし、計画の内容について町が納得する内容かどうかにつきましては、現段階の計画案では、波及効果等が見えていない状況となっており、今後、漁業者も含め納得できる内容となるよう八雲町との協議に臨みたいと考えております。また、協議に当たっては、地元漁業者を含め島内への経済効果についても考慮し、議員各位のご意見も伺いながら、進めてまいりたいと思います。



**国保病院における
経営改善策について**

質問

1. 病院経営で収益が上がるかとされている人工透析における機器の導入は利用者患者と家族の負担軽減から速やかな導入をすべきではありませんか。

2. 維持による大規模改修として急ぐことは、屋根の雨漏り対策と言われているが計画年次は明示できますか。雨漏り対策以外の改修計画についての説明は出来ますか。

3. 入院患者の利用推移から、ベッド数は40程度の削減に踏み切るべきではありませんか。

4. 40ベッドへ移行による経費削減について試算は提示できますか。

**順次改修を行いつつ
病床数削減を目指す**

町長答弁

1. 国保病院における経営改善策について人工透析機器の導入についてですが、現在、導入の可否について検討、調査をしているところです。以前の人工透析は病院収益として、大きな利益を上げることができましたが、現在は、診療報酬が大幅に引き下げられており、この傾向は今後も続くものと予測されており、導入につきましては、住民のニーズや費用対効果を総合的に判断して早期に結論を出したいと考えております。

2. 国保病院屋根の防水改修工事は令和5年度施工を予定し、概算経費は2600万円を予定しております。その他の改修計画につ

きましては、スプリンクラー設備設置工事、耐震診断を令和4年度に実施します。病院本体の改修工事につきましては、耐震診断の結果を踏まえ、今後の方向性を改めて検討してまいります。また、医療機器、什器備品につきましても、メーカー推奨の対応年数を超過し、メンテナンスや部品調達が困難となったものから、利用頻度を考慮し、順次更新を行っております。

3. 令和4年度の9月定例町議会に病床数削減に伴う条例を上程すべく現在準備を進めているところであります。病床数につきましては、制野議員ご提案の通り40床への削減を計画しております。内訳は、現在24床ある一般病床を17床に、30床ある療養病床を23床に、削減病床数は14床を予定しております。

4. 令和4年度中の病床削減を見越し、今年度末退職の看護補助者1名の後任を採用せず、不補充とした。その分の人件費約385万円、病床数に応じ負担率が変更となる損害保険料が約34万3千円が削減となる見込みです。また、削減経費ではございませんが、病床機能再編支援事業費給付金により一度限りではあります、798万円の給付金が北海道より交付されます。

